

町田市合同運営推進会議 アンケートまとめ

1 参加人数

事業所種別	参加人数	種別		
		管理者	生活相談員	その他
地域密着型通所介護	82	43	26	13
認知症対応型共同生活介護	33	18	0	8
認知症対応型通所介護	30	19	12	2
小規模多機能居宅介護	6	3	1	4
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	6	2	0	4
看護小規模多機能居宅介護	3	2	0	1
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護	2	1	1	0
合計	162	88	40	32

※サービスを兼務している人がいるため、参加人数のその種別の合計数が一致しません部分がございます。

2 合同運営推進会議に、参加した感想を教えてください。

(1)良かった点

他職種と様々な意見交換・交流ができたので、よかった。

各事業所の取組や工夫、参加状況がわかり、次回会議の参考になった。

運営推進会議の内容や参加メンバーが少ない、メンバーの固定化など、抱えている課題は同様であると認識した。

困っていることの共有など、課題の共有ができた。

地域との連携、なかなか忙しい中で進めていくので難しいが、一歩ずつ進めばよいと感じた。

他事業所・他業種の方々から成功例等聞いた事で自分の所で生かせるポイントを知れて考えられて良かった。

地域との連携方法を新たに知ることができ、自事業所で出来ることを考えるヒントとなった。

他事業所の開催内容を共有する場はないので取り組みを知ることが改めて運推会議を行う意味を考えることができました。

利用者が重度化し、利用者の参加に対し抵抗があるのも事実です。そのような同意見もあり、少し気持ちが楽になりました。

上手に行なえているところは行事・おもてなし(バーベキュー)などをうまく活用することで話しやすい環境づくりに努力されていた。とても参考になりました。

決められているから開催するのではなく運営推進会議本来の意味や役割効果を改めて考え直す機会になりました。

各事業所の特色を活かして互いに情報を伝えていける関係をつくれると良い。

アドバイスをして頂いたりとても皆さん勉強されていて意欲が見えました。とても交流が出来良かったです。

通所やグループホームそれぞれの役割を確認しながら意見を聞くことができた。グループホームでは連絡会を毎月行い合同研修会などの取り組みをされているとのこと。事業所連携について知ることができた。

大小さまざまな事業者もあったため有効であった。医療関係との協力や様々な連携を取っている所と取っていない差が大きく見えた。小規模多機能GHの活動は非常に参考となるものが多かった。

地域とつながった施設である第一の条件は施設がひらかれたものである事を再認しました。自分達の事業所はその町でどんな役割を受けもてるか考えることができた。

事業所の為になる事をより多く取り入れるには・・・という話し合いが出来ました。問題点が多々あり地域に密着する難しさがあることも知りました。

地域の方と連携が取りやすい関係作りができた。共有できる課題について確認解決の糸口が見えてきました。連携できるメンバーについて地域で参加できる人希望している方に声掛けて進めたい。

スタッフとして参加させて頂き、色々な事業所の現状ややり方を聞く事が出来て自分自身も勉強になりました。

運営推進会議や地域についてより自らも学ぶことも重要であると改めて感じました。

お互いの事業所間の距離が近くなったことが良かった。会を重ねることで何か楽しい企画ができるのではないかと思います。

他事業所の方と同じテーマで話し合う機会となった。グループワークの中で「互いの事業所のサービス内容を理解する事が連携の近道ではないか」という意見に深く共感した。

地域に近い事業者の方々といろいろな思っていることを話すことが出来ました。これを機会に施設間の連絡を取りたいと思っています。

複数会場での同時開催素晴らしいと思いました。今後の運営推進会議の開催に向けてヒントが得られて大変有意義なものになりました。

初の開催ではありましたが、グループワークもあり効果的であったと思います。今回のグループワーク、事例を踏まえての実践、意見もあるかと思っております。

普段事業所間での意見交換、顔合わせする事がない今回会議に参加し、各所の意見を聞く、又、自身の通所の意見を改めて見直す良い機会になった。次回の会議の内容時前に把握できたら、施設内でのスタッフからの意見もきけるのではと思った。

それぞれの施設の会議を開催していく上での工夫や困難となっている点がよく分かった。取り入れていきたい。また、事業所間の交流についても行っていきたい。発表にもあったが、連絡会を活用していきたいと思う。

意見交換の場となったが、合同の難しさも感じた。

他職種の状況ややっていることが少しでも理解できてとてもよかったです。

少しでも理解することで、ケアマネへの提案につながると思いました。

また、GWでは実施するまで時間がかかると思いますが、話し合いを待ち、今ある状況を認識しあえたことが、意味のある会議だったと思います。

## (2)改善点

資料の文字が小さく読み取れない

音声聞きづらかった

テーマを絞って、事例報告を行ってほしい。

他の事業所がどのような運営推進会議を行っているのか知りたかった。自分たちが難しいと思っている所が他事業所ではどう思っているのか勉強したかった。

グループワークの時間が少なかった

地域密着型だからこそ、高齢者支援センターとの連携を活用していく事も大切である事を知る。

合同の会議としてはとても意義があると感じるが、これ自体に民生委員や利用者家族等が参加していないのに運営推進会議であるとするのが本来の運営推進会議とずれている気がする。

色々な事業所の会議に参加している市の職員の方から参考となる事例を紹介するなどアドバイスも頂きたかった。

## (3)その他

とても有意義な会となりました。今後もぜひ行って頂き、継続してほしいです。同じエリアにどういった事業所があるのか知りえたことも良かったです。

顔合わせとして良いと思う。連絡会等とは違い強制力がある。1~2回は、こういった集まりで顔を覚えていくと事業者間連携としても良いと思う。

管理者ではない一職員には話が難しかったです。

回数にカウントできるから参加した

目的が理解できた様なできない様な…。運営推進会議のスキルアップを目指しているのか。圏域の事業所同士で課題発掘をするべきなのか…。

時間短縮、効果有、良いです。

グループワークについて、事業内容が違うのに話をしてもまとまりがない気がする反面、だから相手に何を話すか…という感じでした。参加で会議が減るというのは「会議」がやりづらいと思っている人が多いのでは。いろいろな意見があってもおもしろいですが。

通所連絡会で行った「運営推進会議」についての検討会に比べ、建設的な意見が多いように感じました。

種類の違う事業所の方と話し合いができたのはとてもよかったです。今後も合同開催を行ってほしいと思う。

社会福祉法人さんの世界ですよ  
小さい単独事業所は土俵に乗れません

具体的事例が多く、皆さんが積極的に意見を出されていた。  
交流の意味でも今後継続されると良いと思います。

### 3 次回の開催テーマ・事例発表の内容はどのようなものがありますか。

今回と同じテーマ(地域の拠点化、事業所間の連携)

※今回の合同運営推進会議を受けて、実際に取組んだ事例も聞きたい

※テーマをもっと掘り下げたり、具体的な話を進めたい

災害時の対応(防災訓練方法、送迎時や事業所内でのサービス提供時)、災害時の事業所連携

運営推進会議の必要性

医療・介護連携

家族に参加してもらえる運営推進会議

地域連携の成功事例と失敗事例

地域や町田市が事業所に求めていること、地域密着サービスの役割とは

地域課題とは何か、どのように把握すればよいか

地域への事業所の周知

町田市に足りないサービス、社会資源の創設のためには

地域にどのように「交流の場」を作っていくのか

各施設に見合ったご利用者の対応方法、又、他施設への紹介の仕方

要介護が改善するケアとは